

大学・高専機能強化支援事業（支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）  
【大学 一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103055	改組内容	研究科等の設置（特例枠）
大学名	順天堂大学	設置区分	私立	事業計画名	順天堂大学 研究科等の設置（大学（特例枠））
学校種	大学	都道府県	東京都		

1. 年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。  
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。  
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	【情報系組織の入学定員】<博士>0人、<修士>0人 3月 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（修士課程）設置認可申請予定 3月 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（博士課程）設置認可申請予定	【情報系組織の入学定員】<博士>0人、<修士>0人 3月 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（博士前期課程）設置認可申請 3月 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（博士後期課程）設置認可申請	R5年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	1. 設置準備 ①令和5年6月 大学院設置準備委員会を組織化 ②令和5年7月 大学院設置計画の大学生・大学院生ニーズ調査 ③令和5年9月 地元自治体や企業等との設置計画に関する事前協議 ④令和5年6月～令和6年3月 教員確保のための活動（国内外大学、研究機関等） ⑤令和5年10月 学生確保の見通し等を記載した書類高校生アンケート調査 ⑥令和5年10月 学生確保の見通し等を記載した書類企業等アンケート調査 ⑦令和6年3月 設置申請（認可申請） ※ 大学院（修士課程2年）、大学院（博士課程：3年） 2. 組織体制 ①令和5年9月～令和6年3月 開設準備事務職員の雇用（1名） ②令和5年8月 産学協働協議会の組織化（主な目的：産業界等が求める人材像ニーズ調査） ③令和5年9月～令和6年3月 産学協働協議会の開催（9月、2月） ④令和5年10月 順天堂大学健康データサイエンス学部サイバーセキュリティ・センター組織化 3. 地域及び企業向け教育プログラム（知の拠点としての活動） ①令和5年10月～令和6年3月 サイバーセキュリティ・教育プログラム案の策定	1. 設置準備 ①令和5年6月 大学院設置準備委員会を組織化 ②令和5年7月 大学院設置計画の大学生・大学院生ニーズ調査 ③令和5年9月 地元自治体や企業等との設置計画に関する事前協議（外部機関：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、GEヘルスケア・ジャパン株式会社、キャンメディカルシステムズ株式会社、TDK株式会社） ④令和5年6月～令和6年3月 教員確保のための活動（国内外大学、研究機関等） ⑤令和6年1月 学生確保の見通し等を記載した書類高校生アンケート調査 ⑥令和6年1月 学生確保の見通し等を記載した書類企業等アンケート調査 ⑦令和6年3月 設置申請（認可申請） ※ 大学院（博士前期課程2年）、大学院（博士後期課程：3年） 2. 組織体制 ①令和5年9月～令和6年3月 開設準備事務職員の雇用（0名）：令和6年度に年度変更 ②令和5年9月 産学協働協議会の組織化（主な目的：産業界等が求める人材像ニーズ調査） ③令和5年9月～令和6年3月 産学協働協議会の開催（9月開催、2月は未開催）（外部機関：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、GEヘルスケア・ジャパン株式会社、フラスマン合同会社） ④令和5年10月 順天堂大学健康データサイエンス学部サイバーセキュリティ・ワーキンググループを組織化 3. 地域及び企業向け教育プログラム（知の拠点としての活動） ①令和5年11月 一般公開シンポジウム「サイバーセキュリティにおける産学連携の課題と展望」を開催		
令和6年度	【情報系組織の入学定員】<博士>0人、<修士>0人 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（修士課程）設置認可申請中 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（博士課程）設置認可申請中	【情報系組織の入学定員】<博士>0人、<修士>0人 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（修士課程）設置認可 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（博士課程）設置認可	R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	1. 設置準備 ①認可後 学生募集開始 ②令和6年11月 入学者選抜Ⅰ期（一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜…（※）） ③令和7年2月 入学者選抜Ⅱ期（一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜…（※）） （※）一般選抜及び社会人選抜は、a地元枠、b自治体・企業枠、c女子枠、以上の募集人員枠を設ける） 2. 組織体制 ①令和6年4月～令和7年3月 開設準備事務職員の雇用（1名） ②令和6年4月～令和7年3月 教員採用（新規）：ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ教員1名（准教授職相当） ③令和6年4月～令和7年3月 産学協働協議会の開催（8月、12月） 3. 成果等情報公開 ①令和7年3月 学内サイトによる情報公開（産学協働協議会議事録など） 3. 地域及び企業向け教育プログラム（知の拠点としての活動） ①令和6年4月～令和6年8月 公開講座：サイバーセキュリティ・教育プログラム周知活動（自治体、企業等） ②令和6年9月～令和6年12月 公開講座：サイバーセキュリティ・教育プログラムⅠ期開講（8コマ×同内容2回） ③令和6年4月～令和7年3月 産業界等との渉外	1. 設置準備 ①認可後 学生募集開始 ②令和6年11月 入学者選抜Ⅰ期（一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜、学内推薦選抜…（※）） ③令和7年2月 入学者選抜Ⅱ期（一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜、学内推薦選抜…（※）） （※）一般選抜及び外国人留学生選抜に女子枠を設ける。 2. 組織体制 ①令和6年11月～令和7年3月 開設準備事務職員の雇用（1名） 令和7年3月 開設準備事務職員の雇用（1名） ②令和6年4月～令和7年3月 教員採用（新規）：ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ教員1名（教授職相当） ③令和7年3月 産学協働協議会の開催 3. 成果等情報公開 ①学内サイトによる情報公開を整備中（産学協働協議会議事録など） 3. 地域及び企業向け教育プログラム（知の拠点としての活動） ①令和6年10月 シンポジウム：「データサイエンスにおいて統計学ができること」「データサイエンスのための健康医療デジタルサイ」「サイバーセキュリティにおけるデータサイエンスの利活用」を実施 ②公開講座：サイバーセキュリティ・教育プログラムⅠ期開講（8コマ×同内容2回）の検討 ③令和6年4月～令和7年3月 産業界等との渉外		
令和7年度	【情報系組織の入学定員】<博士>6人、<修士>20人 4月 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（博士前期課程）開設予定（入学定員20名） 4月 順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科（博士後期課程）開設予定（入学定員6名）		○年度自己評価	リストから選択してください。
	1. 大学院（修士課程）開設、大学院（博士課程）開設 ①年間 授業評価・授業改善（授業回毎回実施。加えて教育研究改善研究会等で評価） ②年間 産学連携教育研究推進 2. 組織体制 ①令和7年4月～令和8年3月 教員採用（新規）：コンピュータサイバーセキュリティ系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ系教員1名（講師職相当）、ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、ヘルスデータサイエンス系教員1名（准教授職相当）、応用統計系教員1名（教授職相当）、教員採用（継続）：ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ教員1名（准教授職相当） ②令和7年4月～令和8年3月 職員採用（研究科業務推進者）1名 ③令和7年4月～令和8年3月 産学協働協議会の開催（5月、9月、1月） 3. 成果等情報公開 ①令和8年3月 学内サイトによる情報公開（産学協働協議会議事録など） 4. 地域及び企業向け教育プログラム（知の拠点としての活動） ①令和7年9月～令和7年12月 公開講座：サイバーセキュリティ・教育プログラムⅡ期開講（8コマ×同内容2回） ②令和7年4月～令和8年3月 産業界等との渉外			
令和8年度	【情報系組織の入学定員】<博士>6人、<修士>20人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	1. 大学院（修士課程）完成年度、大学院（博士課程）2年目 ①年間 授業評価・授業改善（授業回毎回実施。加えて教育研究改善研究会等で評価） ②年間 産学連携教育研究推進 2. 組織体制 ①令和8年4月 教育研究改善研究会（産学協働協議会（開設前）の発展組織）の組織化 ②令和8年4月～令和9年3月 教育研究改善研究会の開催（9月、3月） ③令和8年4月～令和9年3月 教員採用（令和6年度から継続）：ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ教員1名（准教授職相当）、教員採用（令和7年度から継続）：コンピュータサイバーセキュリティ系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ系教員1名（講師職相当）、ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、ヘルスデータサイエンス系教員1名（准教授職相当）、応用統計系教員1名（教授職相当） ④令和8年4月～令和9年3月 職員採用（研究科業務推進者）1名 3. 成果等情報公開 ①令和9年3月 学内サイトによる情報公開（教育研究改善研究会議事録など）			
令和9年度	【情報系組織の入学定員】<博士>6人、<修士>20人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	1. 大学院（博士課程）完成年度 ①年間 授業評価・授業改善 ②年間 産学連携教育研究推進 2. 組織体制 ①令和9年4月～令和10年3月 教育研究改善研究会の開催（9月、3月） ②令和9年4月～令和10年3月 教員採用（令和6年度から継続）：ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ教員1名（准教授職相当）、教員採用（令和7年度から継続）：コンピュータサイバーセキュリティ系教員1名（教授職相当）、コンピュータサイバーセキュリティ系教員1名（講師職相当）、ヘルスデータサイエンス系教員1名（教授職相当）、ヘルスデータサイエンス系教員1名（准教授職相当）、応用統計系教員1名（教授職相当） ③令和9年4月～令和10年3月 職員採用（研究科業務推進者）1名 3. 成果等情報公開 ①令和10年3月 学内サイトによる情報公開（教育研究改善研究会議事録など）			

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	
-------------	-------	-----	--

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。  

確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック
- ② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特長を活かすなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）  

既設の情報系分野に係る研究科等を有する	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
---------------------	--
- ⑨ 機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）5名以上の入学定員の増員を行う計画であること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中期目標期間終了時まで他に学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。  

計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
-----------------------	--
- ⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画となっていること。  

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------------	--
- ⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。  

認定を受けている、又は対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック
認定を受ける計画が進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	
-------------	-------	-----	--

④ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
--------------------	--

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
申請するまでの準備期間において、地元自治体や企業等と設置計画に関する事前協議を重ねる中で意見（ニーズ）を踏襲するとともに、学内/大学院設置準備委員会の直下に「産学協働協議会」を組織化し、そこで協議した産学連携の実践的な教育と研究室を中心とした共同研究の内容を教育課程に組み込む計画である。産学連携教育は当研究科教育課程の柱の一つであり、特に修士課程においてはディプロマポリシーに則し企業との具体的な連携内容や方法を詳細に教育課程に設計する。具体的には、教育課程に「産学連携科目群」を置き、企業等からの研究者・技術者によるPBLを通じ、社会的・実践的な課題発見及び課題解決に取り組む。もう一つは、指導教員の許可のもと、企業等における「インターンシップ」や、産学連携で教育内容を設計する「コア教育」の履修を可能とする。例えば近隣の自治体や企業と連携して、他地区で行った経路を活用し、高齢者のワーカーの早期発見と予防を連携して行う。教育研究の計画については、研究科開設後に設置する「教育研究改善研究会」（委員長はAI企業、国際的企業、自治体等から招聘）において、産学連携によるP D Cサイクルのもと「確認・評価・改善」する。	大学院研究科設置構想において、社会ニーズを的確に確認するため、令和5年9月に「第1回 産学協働協議会」を研究科の就職先として考えられる領域を中心に、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構、GENルスクア・ジャパン株式会社、プラスマン合同会社、以上3団体・企業を招聘し開催した。協議会で、明確化する社会ニーズを確認するとともに本研究科が育成する人材像（ディプロマポリシー）との整合性を図った。本取組申請時は、本研究科の特色として教育課程に「産学連携科目群」と明確化する計画であったが、もとよりデータサイエンスという学びの特性から全ての研究室で共同研究等の産業界等との連携及び必須となるため、最終的には区分（「専門科目」「研究指導科目」）に集約し教育課程を編成し認可申請している。「インターンシップ」については、基礎学部と向く指導教員の許可のもと教育課程外で支援する。「コア教育」に関しては、研究科開設後に構想・設計を開始することになる。研究科開設後に設置する「教育研究改善研究会」は、「産学協働協議会」を発展させた組織として計画しており、令和6年度の「大学院設置準備委員会」及び「産学協働協議会」で具体的な検討を行っていく予定である。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
基礎学部である健康データサイエンス学部では既に高大連携が始まり、3校の高校の研究課題（総合的な探究の時間）の評価を担っている。加えて開設後の現在、高校側からの「健康データサイエンス」に対する注目はさらに高まっており、新しい情報「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」の教育に関する助言から、「総合的な探究の時間」の協働開発まで、高校側からの連携要望は後を絶たない。そのため、学部では可能な限り、上述の高校情報2科を中心とした講義の提供や、研究課題への評価などを中心に高大連携を拡充する計画である。一方、現在設置を構想している（仮称）健康データサイエンス研究科では、産学連携や地域連携、国際連携を中心に計画であり、高大連携を中心とした学部と役割を棲み分けて連携事業に対応する計画である。	基礎学部では、令和5年度、1校（聖学院中学校・高等学校）の研究課題（総合的な探究の時間）の評価支援と、2校（千葉県立鹿野高等学校、大分県立別府鶴見丘高校）のデータサイエンス、AI、DX等に関する出張講義の依頼に対応した。令和5年度は、全国の文部科学省・令和6年度高等学校DX加速化推進事業（DXハイス쿨）採択校に対し、高校の夏休み期間中に合せデータサイエンス、AI、DX等に係る「講義・演習の提供」の提供を計画している。また、地域連携の一環として、千葉県内の高校に対し高校教員のFD活動の支援となる研究者（研究科教員）派遣の取組を計画している。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
現在設置を構想している（仮称）健康データサイエンス研究科では、企業ニーズに応える「専門人材（AI技術やデータ分析）」の育成とともに、世界的なデータサイエンス不足から「グローバル人材育成」にも発展する教育研究も担うことになる。そのため、入学選抜においては社会人や外国人留学生、理系女子を積極的に受け入れる計画であり、募集人員の中に、「社会人」「地元自治体推薦枠」「女子枠」を設ける計画である。さらに外国人留学生の受け入れも「入学」を支援する計画である。授業については「夜間主プログラム」を中心に開講する予定であり、外国人留学生には特に配慮しており、英語及び中国語にも堪能な教員を配置するとともに、学生募集については、日本語学校との連携や海外現地への直接のアプローチを展開する計画である。また、基礎学部である健康データサイエンス学部には、新入生101名中、32名の女子学生、21名の目的意識の高い外国人留学生が既に入学している。教員にも女性を多数確保の外国人教員を配し、女子学生、留学生に配慮している。	令和6年3月に認可申請している当該研究科の認可を待って、左記の学生募集に係る「申請時の計画」を速やかに実施できるように、学内「大学院設置準備委員会」で詳細の実施計画を策定している。	

④ 他の大学（外国大学を含む）、高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
既設の医学研究科医学専攻（修士課程）データサイエンス学位プログラムでは、既に10名を超える留学生・研究生が在籍しており、工学系の本格的な研究を望む院生は、本事業の（仮称）健康データサイエンス研究科での教育研究を希望すると考えられる。基礎学部では開設2か月で国際シンポジウムを行うなど（モントリオール工科大学（カナダ））、本学には既に多くの海外の連携大学があるが、（仮称）健康データサイエンス研究科においても、多くの外国大学との協定締結及び人材交流（学生交流、教員交流、研究者交流）を計画している。【現在構想している連携先大学】1. University of Vic - Central University of Catalonia（スペイン）、2. The University of Manchester（イギリス）、3. University of Nankai University（中国）、4. University of Essex（イギリス）、5. Lehigh University（USA）、6. University of Buenos Aires（アルゼンチン）、7. 東亜大学（台湾）	令和5年度は、外国大学等の協力を得ながら外国人教員の採用活動を行った。（インドネシア国・バジャラン大学、カナダ国・モントリオール工科大学、スペイン国・University of Vic - Central University of Catalonia）。令和6年度は、インドネシア国の2大学と協定締結し、ゆるやかに連携が深まるよう、人材交流（学生交流、教員交流、研究者交流）を具現化できるよう準備を進めている（バジャラン大学、アムラン大学）。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	順天堂大学
-------------	-------	-----	-------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table border="1"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特長を活かすなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）					
	<table border="1"> <tr> <td>既設の情報系分野に係る研究科等を有する</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
既設の情報系分野に係る研究科等を有する	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）5名以上の入学定員の増員を行う計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中期目標期間終了時まで他に学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。					
	<table border="1"> <tr> <td>認定を受けている、又は対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>認定を受ける計画が進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	認定を受けている、又は対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	認定を受ける計画が進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	
認定を受けている、又は対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
認定を受ける計画が進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	順天堂大学
-------------	-------	-----	-------

④ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
--------------------	--

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できたり、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
申請するまでの準備期間において、地元自治体や企業等と設置計画に関する事前協議を重ねる中で意見（ニーズ）を踏襲するとともに、学内大学院設置準備委員会の下に「産学協働協議会」を組織化し、そこで協議した産学連携の具体的な教育と研究室を中心とした共同研究の内容を教育課程に組み込む計画である。産学連携教育は当研究科教育課程の柱の一つであり、特に修士課程においてはディプロマポリシーに則し企業との具体的な連携内容や方法を詳細に教育課程に設計する。具体的には、教育課程に「産学連携科目群」を置き、企業等からの研究者・技術者によるPBLを通じ、社会的・実践的な課題発見及び課題解決に取り組む。もう一つは、指導教員の許可のもと、企業等における「インターンシップ」や、産学連携で教育内容を設計する「コア教育」の履修を可能とする。例えば近隣の自治体と連携して、他地区で行った経路を活用し、高齢者のワールの早期発見と予防を連携で行う。教育研究の面については、研究科開設後に投資する「教育研究改善研究会」（委員はAI企業、国営的企業、自治体等から招聘）において、産学連携によるP D Cサイクルのもと確認・評価・改善する。	昨年度に続き、令和7年3月に「第2回産学協働協議会」を開催し、複雑化する社会ニーズを的確に確認するための行動を継続している。協議会委員には、GEヘルスケア・シバコン株式会社、プラスマン合同会社、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、更に今回からアクセンチュア株式会社参加を得て開催した。協議会では、産業界等各方面的有識者の意見を踏襲し、育成する人材像についてより明確するとともに、その実現を可能とする実践的な教育研究方法等について意見交換がなされた。大学の教育・学生支援機構就職支援センターにおいては、12月に第1回就職支援協議会が開催され、各学部・大学院研究科の就職支援について全学的な取組が開始された。「教育の質に係る客観的指標」「博士人材の民間企業における活躍促進」について情報共有され、3月の第2回就職支援協議会では、2025年度開催日程が示され、組織的に支援する体制となった。企業におけるインターンシップや産学連携で教育内容を設計する「コア教育」については、大学全体の取組と学部・大学院研究科の取組を融合させて、実施に向けて更に検討していく予定である。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
基礎学部である健康データサイエンス学部では既に高大連携が始まり、3校の高校の研究課題（総合的な探究の時間）の評価を担っている。加えて開設後の現在、高校側からの「健康データサイエンスに対する注目はさらに高まっており、新しい情報科情報Ⅰ」「情報Ⅱ」の教育に関する助言から、「総合的な探究の時間」の協働開発まで、高校側からの連携要望は後を絶たない。そのため、学部では可能な限り、上述の高校情報2科を中心とした講義の提供や、研究課題への評価などを中心に高大連携を拡充する計画である。一方、現在設置を構想している（仮称）健康データサイエンス研究科では、産学連携や地域連携、国際連携を中心に行う計画であり、高大連携を中心とした学部と役割を棲み分けて連携事業に対応する計画である。	基礎学部では、令和6年度に、浦安市立入船中学校の訪問を受け入れ、「上級学校調べ学習」に協力し、健康データサイエンス学部について分かりやすく説明した。出張講義については、8月に日本女子大学附属高等学校において「データサイエンスを学ぶ」、10月に相洋高等学校において「データサイエンス」の講義依頼に基づいて、専門分野の学問の魅力を照会するなどの対応をした。更に地域連携を深めため、千葉県内の高校教員のF D活動の支援と研究者（研究科教員）派遣を積極的に取組む。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
現在設置を構想している（仮称）健康データサイエンス研究科では、企業ニーズに応える「専門人材（AI技術やデータ分析）」の育成とともに、世界的なデータサイエンス不足から「グローバル人材育成」にも発展する教育研究も担うことになる。そのため、入学選抜においては社会人や外国人留学生、理系女子を積極的に受け入れる計画であり、募集人員の中に、「社会人」「地元自治体推薦枠」「女子枠」を設ける計画である。さらに外国人留学生の受け入れがスムーズとなるよう「既入学」を支援する計画である。授業については「夜間主プログラム」を中心に開講する予定であり、外国人留学生には特に配慮しており、英語及び中国語にも堪能な教員を配置するとともに、学生募集については、日本語学校との連携や海外現地への直接のアプローチを展開する計画である。また、基礎学部である健康データサイエンス学部には、新入生101名中、32名の女子学生、21名の目的意識の高い外国人留学生が既に入学している。教員にも女性を含む複数の外国人教員を配属し、女子学生、留学生に配慮している。	令和6年8月に認可書を受け、学内に設置した「研究科準備委員会」で準備した学生募集計画に沿って実施した。	

④ 他の大学（外国大学を含む）、高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
既設の医学研究科医科学専攻（修士課程）データサイエンス学位プログラムでは、既に10名を超える留学生・研究生が在籍しており、工学系の本格的な研究を望む院生は、本事業の（仮称）健康データサイエンス研究科での教育研究を希望すると考えられる。基礎学部では開設2か月で国際シンポジウムを行うなど（モンテリオール工科大学（カナダ）、本学には既に多くの海外の連携大学があるが、（仮称）健康データサイエンス研究科においても、多くの外国大学との協定締結及び人材交流（学生交流、教員交流、研究者交流）を計画している。【現在構想している連携先大学】1. University of Vic - Central University of Catalonia（スペイン）、2. The University of Manchester（イギリス）、3. University of Nankai University（中国）、4. University of Essex（イギリス）、5. Lehigh University（USA）、6. University of Buenos Aires（アルゼンチン）7. 東亜大学（台湾）	令和6年度は、カナダ国・モンテリオール工科大学に学生の現地訪問・講義、ワークショップを9月に実施し、大学間の交流を深めた。更に、インドネシア国・アイルラン工科大学との学術交流協定を結ぶ準備を進め、協定書を交わす段階になった。	

















大学名	順天堂大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）
-----	-------	------	--------------

3-3. 学士課程

年度		R5年度	R6年度	R7年度																	
大区分	小区分	項目	単位																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,850	2,060	2,058															
		入学者数	人	1,867	2,141	2,130															
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***															
		入学者数	人	***	***	***															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,850	2,060	2,058	TRUE														
		入学者数(B)	人	1,867	2,141	2,130	TRUE														
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.01	1.04	1.03	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	6,759	7,469	7,987															
		編入学定員	人	***	***	***															
		在籍者数(D)	人	6,747	7,541	8,100															
		編入学者数	人	***	***	***															
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.00	1.01	1.01															

4. 外部資金の状況（全学）

年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	9,443,304	9,464,579																	

特記事項

--